



2月号 令和5年1月31日
茅ヶ崎市立鶴が台小学校
校長 渡邊 美和

学校教育目標： 心豊かに 未来を生き抜く力を育む ～「小さな学校 大きな家族」～

梅の花のつぼみが少しずつ開きだしていたところの強い寒波で、今年の梅の開花はまだ先になりそうですが、暦の上では2月4日に立春を迎えます。立春の日には、太陽と地球の位置関係で決められていて、その年によって違うそうです。「冬の寒さがピークに達し、春の気配がたち始めるころ」をあらわすとのこと。その前の日が『節分』。昔から、豆をまいて鬼を退治する！と言われていますが、最近のご家庭で豆まきなどはしないでしょうか？我が家では、未だにイワシの頭とヒイラギの葉を玄関に置き、大きな声で「鬼は外！ 福は内！ 福は内！！」と小袋入りの豆をまいています。自分の弱みを退治するように、強い心をもって成長したいものですね。

学校では、来年度の準備が始まっています。先日も新入学児童保護者説明会が行われ、入学に向けて学校からの説明だけでなく、PTAからの話もありました。コロナ禍、書面でのお知らせになっていましたが、3年ぶりの開催で直接説明ができてよかったと思っています。ご近所に新1年生がいましたら、子どもたち同士はもちろん、保護者同士もつながっていただけるとありがたいです。よろしくお願いいたします。

2月は、今年度の教育活動のまとめとして大切な時期であるとともに、中学校への進学や新しい学年への進級に向けた準備の時期でもあります。教職員も、結束力をより一層高め日々の教育活動に努めていきます。引き続き、保護者及び地域の皆様方のご支援ご協力をお願いいたします。

インフルエンザにもご注意を！

コロナ対策としての手洗い等が効果を発揮しているのか、昨年末もインフルエンザによる欠席も少なく、それに伴う学級閉鎖はありませんでした。しかし、これから寒さ本番。空気の乾燥も加わり、インフルエンザの流行が懸念されます。引き続き、うがいや手洗いをするのはもちろんですが、十分な栄養の摂取や睡眠時間の確保などについても留意するなど、子どもたちが毎日元気よく登校できるように健康管理に努めていただきたいと思います。

学校運営協議会（コミュニティースクール）

令和5年度より、鶴が台小学校は学校運営評議会を設置し、コミュニティースクールとなります。現在、「学校評議員会」という学校運営について地域の方々のご意見を伺う場がありますが、「学校運営協議会」では、学校運営について意見を交換できる合議体となります。構成メンバーも増員され、よりよい学校運営となるように、学校・地域・保護者が強くつながり、子どもたちの学習活動を支えていきます。

特別支援学級設置に向けて

令和5年4月より開設する、鶴が台小学校特別支援学級の教室改修工事が、ほぼ終わりました。クラスの名前も思案中です。今後、子どもたちにも特別支援学級について説明していきます。

特別支援学級は「一人ひとりが輝き、その子に合った学習をする教室」であり、「みんな誰でも持っている特性をお互いに認め合い、ともに学んでいくところ」だと考えます。ご家庭でも、鶴が台小学校の子どもたち全員が楽しく、心豊かに過ごしていくことができるように考えていただきたいと思います。鶴が台小学校に新しい家族が増えます。温かく迎える準備をしています。